

# 平成 26 年度 事 業 計 画

- 法人 本 部
- ごしょの保育園
- かわしり保育園
- 阿久和保育園
- 西 柴保育園
- 阿久和キッズ

社会福祉法人山王平成会

平成26年度  
社会福祉法人山王平成会  
法人本部事業計画書

## 1 法人基本方針

法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるような創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的にする理念を、職員一人ひとりが保育の実践として具現化に積極的に取り組み、選ばれる保育園をめざさなければならない。

近年保育園は、少子化に歯止めがかからず園児の減少が続いていることにより、経営体制の一層の強化・効率化が求められている。

法人の安定した経営をめざし、以下の事業経営を継続的かつ発展的に取り組んでまいります。

### <福祉事業の内容>

#### 第二種社会福祉事業

##### 保育園事業

##### 一時預かり事業

### <保育園の経営>

保育園名	定員	職員
ごしょの保育園	190名	52名
かわしり保育園	60名	24名
阿久和保育園	90名	33名
西柴保育園	60名	18名
阿久和キッズ	19名(10)	8名(4)
合計	419名	135名

(26年度予定)

## 2 法人事業計画の具体化

### (1) 小規模保育事業の開園

各事業所(本部・保育所)との連携強化のうえ、5月1日開園に向け取り

組みます。

- (2) 長期計画(平成24年度～平成26年度、3か年分)の継続的実行  
各事業所(本部・保育所)において継続して取り組み、施設長会議等で進捗状況を確認するなど共有化を図ります。
- (3) 法人本部としての機能的な組織運営
  - 役員会開催の定着化
  - 施設長会議の定期的開催(年2回)
  - 理事会、年4回以上開催
  - 法人財務の充実  
法人本部としての財政基盤の一層の充実のため、経理担当者の研修、各種資料の活用等による分析能力向上に取り組みます。
- (4) 法人としての人材育成  
保育士の他保育所研修の企画立案について検討、その定着化に取り組みます。
- (5) 就業規則他、各種規程類の見直し
- (6) 幼保小の取り組みについて、各保育所の情報共有化

# 平成26年度

## ごしょの保育園事業計画

### 1 事業の内容

- 保育事業
- 一時預かり事業
- 延長保育事業
- 病児・病後児保育（体調不良児対応型）事業

### 2 保育園をめぐる状況と基本方針

平成25年度は定員は180人であるが、実質196名の対応になっている。ごしょの保育園を希望される方にできるだけ多く入園して頂けるよう、保育の内容、保育士の質を向上させるよう、努力している。

第三者評価を終え、昨年度から評価を受けた際不十分だったところ、及びこの園としての評価していただいたところをさらに充実させていくこととしているので、今年度もまた、継続していく。

一時預かり事業は、随時、受け付けるようにしたり、延長保育も、保護者の事情によって、あらかじめ連絡していただくこととしてはいるが、随時受け付け、在宅向けにも子育て支援をしていく。

病児・病後児保育（体調不良児対応型）事業は登園してから体調を崩した子ども達を保健室に移し、体調の変化を詳しく診ながら、保護者には、仕事を無理なくやり終えてからお迎えに来てくださるよう連絡をし、保護者が安心して仕事に向かえるようにしていく。

### 3 重点施策

- 保育活動の充実
  - ・横浜にある姉妹園で行われている保育活動の中で、当園で取り入れられるものを段階を踏んで行っていくこととした。  
その際、異年齢での交流を踏まえながら、子ども達・職員同士のかかわりも深めていきたいと考えている。  
今年度の園内研修として取り上げたい。
  - ・書きやすい研修報告の構成について、見直しをする。

参加した職員が負担なく研修内容を他の職員に伝えることと、それを実際の保育活動に活かしていくためには、どんな報告の仕方が良いのか、各年代の職員が考えを持ち寄って保育に活かせる報告者の書き方を考える。

・食育の充実は、食育担当保育者と厨房職員、看護師が中心となり、子どもに無理なく食育の大切さを伝えていくと共に、保護者へ食の大切さを伝えていくようとする。

それと共に、アレルギーの子ども達に対する配慮（アレルギー食の提供、誤食の防止、解除の受付）をし、職員にも徹底させていく。

・衛生面に関しては園児の体調管理、感染症の予防、また、登園後の体調不良の子どもに対する対応に努め、特に、体調不良になった子どもに対して、看護師が付き添い保健室を使って、ゆっくりと休ませると共に、感染の予防に努める。そして、保護者の勤務状況に合わせて支援をしていく。

また、保育園サーベイランスを活用して、地域の感染状況を保護者に伝えたり、園内でも感染予防の啓発に努める。

#### 4 施設設備及び備品の購入計画

- 園舎の補修
- 保育園の周囲のフェンスの設置
- 床暖用ボイラーの交換

#### 5 学年別保育年度達成目標・または学年別保育方針等

0歳児；子ども達が安全に過ごせるための保育室を中心とした環境づくり

1歳児；保育室の広さを生かし、のびのびとした活動の展開

2歳児；活動内容に合わせた少人数に分かれた保育と、生活習慣の自立に向け、保育者のかかわり方の充実

3歳児；2クラスに分かれての保育の利点や、全員で行う活動の利点を取り入れた、丁寧なかかわりの実践

4歳児；自我の形成に伴った自己充実のできる活動の組み立て

5歳児；就学に向けた無理のない活動の計画と、心情・意欲・態度を育てるための子ども達のつながりを重視した保育の展開

## 6 事業に関する事項

定員 180名

### 利用者状況及び職員構成

年齢別区分	25年度継続児	26年度新入児	26年度合計
0歳児	1	25	26
1歳児	34		34
2歳児	32	1	33
3歳児	32		32
4歳児	33		33
5歳児	33		33
合計	165	26	191

年齢別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
園児数	33	34	33	33	33	33	199
保育士定数	11		11	2		3	27

職種	園長	保育士	厨房	事務員	嘱託医	看護師	その他	合計
職員数	1	41	3	3	2	2		52
有資格者		39	2		2	2		45

## 7 会議等

- ・職員会議（毎月1回、常勤・午前補助職員・午後補助職員等に分かれて3回）
- ・厨房会議（毎月1回 園長・主任・厨房職員・看護師・0歳児チーフ・食育チーム）
- ・クラス会（毎月1回、0・1歳児 2歳児 3・4・5歳児に分かれて）
- ・チーフ会（隨時、各学年チーフ おおよそ年10回）
- ・主任副主任会（隨時、おおよそ年5回）
- ・ケース会議（隨時、検討事項がある時、関係職員）
- ・申し送り（毎日、午前午後1回ずつ、園長、主任、各クラスチーフ）
- ・その他。行事ごと、担当ごとの会議を隨時開催

## 8 行事計画

## 8行事計画

月	日	行 事 名	内 容
4	1	進級・新入日	
	4	進級・新入を祝う会	進級・新入をみんなでお祝いします。
	5	保育園懇談会・ごしょの会総会 クラス懇談	保育園と保護者お一緒になって、子ども達のことを考える会です。
5	2	端午の節句集会	子ども達で端午の節句をお祝いします。
		内科検診（13・20・27）	3回に分かれて全員検診を受けます。
6	14	保育参加・参観	お子さんと一緒に保育園での遊びを楽しみます。
	初旬	歯科検診	全員検診を受けます。
7	7	七夕集会	子ども達で短冊にお願いを書いたりします。
		お泊り保育（11・12）	年長児が参加します。
8	9	夏まつり	地域の方と一緒に楽しみます。
9	下旬	運動会	みんなで体を動かして楽しめます。
10	中旬	遠足	学年ごとに園バスに乗って出かけます。
		内科検診（14・21・28）	3回に分かれて全員検診を受けます。
11	初旬	自由遊び参観・参加デー	保護者の方も先生になったつもりで保育に参加できます。
12	6	発表会	秋田テルサにて子ども達の張りきった姿を見ていただきます。
	22	クリスマス会	子ども達でクリスマスを楽しみます。
1	6	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いします。
	17	給食試食懇談会・ごしょの会総会	保育園のことについてお話しします。給食の試食をします。ごしょの会の活動報告をします。
2	2	節分集会	子ども達で豆まきをします。
3	3	ひなまつり会	子ども達でひなまつりをします
	7	年長保育参観・クラス懇談	卒園前の子ども達の様子をお伝えします。
	下旬	卒園式	卒立つ年長さんをお祝いします。

\*その他、誕生会・避難訓練を毎月行います。

\*園バスに乗って、おでかけをします。(3・4・5歳児は毎月、2歳児は夏・秋)

\*各クラスで身体測定をします。

## 9 研修計画

### 外部研修

主催者	県保協	民保協	県保育士会	市保育士会	県社福	幼保推進課	その他
4月	総会	施設長会	総会	総会		園長運営管理者研修会 園長運営管理者研修会	
		総会		幹事会			
				研究部会			
5月		施設長会		主任部会		防火教育指導者研修会 教頭・主任等研修	
				研究部会			
				給食担当者部会		10年経験者研修	
				看護師部会			
6月		施設長会		幹事会		10年経験者研修	
		主任部会		研究部会			
				ミニ学習会			
7月		施設長会		主任部会		保育技術協議会	
				研究部会		10年経験者研修	
				給食担当者部会			
8月		施設長会		研究部会		就学前教育指導者研修会 10年経験者研修	
		主任部会				特別支援研修	
9月		施設長会		研究部会		乳幼児保育研修会	
				看護師部会		10年経験者研修	
10月	ブロックセミナー	施設長会		幹事会		10年経験者研修 東北病院病院保育室会議会	
				学習会			
				研究部会			
				給食担当者部会			
11月	保育園長研修	施設長会		リフレッシュ会		教頭・主任等研修 特定給食施設研修会	
				主任部会		防火教育指導者研修会 特定給食施設給食担当者研修	
				研究部会			
				看護師部会			
12月	園長セミナーⅠ	施設長会		研究部会			
	主任保育士研修						
	新任保育士研修						
1月		施設長会		研究部会		10年経験者研修	
				給食担当者部会			
2月		施設長会		幹事会	社会福祉法人役員研修		
		主任部会		主任部会			
		看護師部会		研究部会			

				看護師部会			
3月		施設長会					

### 内部研修

\* 今年度は横浜の保育園を見学に行って研修してきた内容をごしょの保育園の保育に組み入れていくための研修を積みたいと考えている。

月	研修名	内 容	その他
4月	「リズム」活動	各学年で経験する内容について職員で共通理解を図る。各クラスでの活動。	新人職員研修 (2回)
5月	「リズム」集会	小さい単位で交流しながらの集会の開催。	
6月	縦割りの運動遊び	各学年の段階に応じた遊びの組み立て	
7月	「リズム」集会	活動内容の検討（時期的なものを追加）	絵本紹介
8月	縦割りの運動遊び	運動会に向けての内容検討、実施	
9月	縦割りの運動遊び 「リズム」活動	種目に組み込む内容の検討、実施 運動会の内容に合わせた活動の組み立て	
10月	「リズム」活動 縦割りの運動遊び	外に出にくくなる時期に向かっての内容の検討	絵本紹介
11月	「リズム」活動 縦割りの運動遊び	発表会に向けての活動内容の検討	
12月	「リズム」活動 縦割りの運動遊び	集会の拡大と、園内を有効に使った活動内容の検討	
1月	「リズム」活動 縦割りの運動遊び		
2月	「リズム」活動 縦割りの運動遊び		
3月	「リズム」活動 縦割りの運動遊び	今年度の反省をもとに、次年度の計画の作成	

### 10 その他の事項

# 平成 26 年度 かわしり保育園事業計画

## 1. 事業内容

### ○保育事業

- ・一時預かり事業
- ・延長保育
- ・休日保育

## 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

民間移管し、今年で 4 年目の春を迎える。一時預かり事業や保育室の改装といった課題等に積極的に取り組み、保護者に安心、信頼される園運営を目指し、定員 60 名に対し、70 名前後の子ども達が入所している。25 年度末に保護者アンケートを実施し、保護者から意見を聞くことができた。今年度の園運営に活かせるように職員間で話し合いをしていきたい。

## 3. 重点施策

### ① 新園舎の環境整備・体制作り(特に地震・津波における避難の強化を図る・メール配信サービスの検討)

2 階に保育室が完成し、4 歳児・5 歳児が 2 階での過ごす時間が増えた。そこで、2 階からスムーズに避難ができるよう、今一度、防災計画を見直していきたい。またかわしり保育園は海拔が低く津波が想定された場合、総社神社まで避難しなければならない。今年度は秋までに一度、津波を想定した訓練を必ず行う。

また避難にあたり、備品、食糧の備蓄の見直しを図る。クラスに備え付けの備品等を再度見直し、訓練時には必ず持参するよう心がける。

保護者にはメール配信サービスを提供し、避難の際のテストメールサービスを行うことを検討する。また保護者参加訓練も実施していきたい。

### ② 園内外の修繕

ホールのエアコンの設置、1 階のトイレの修繕を行う。ホールは毎月行われる誕生会で保護者も子ども達も利用することがあり、早急の修理が必要である。また 2 階の修繕を昨年度行い、1 階の子ども用トイレまで費用が工面できなかった。冬に入り、トイレの配管からのにおいもひどく、早急に改修する必要がある。

修繕にあたり、莫大な費用がかかるので職員にも節約を心掛けるよう徹底する。

### ③ 一時保育・休日保育の利用者数の拡大

休日保育の利用者数を 1 日 3 ~ 5 名、一時保育利用者数を 1 日 3 ~ 5 名の利用者数を目指す。園開放、近隣の方へのちらしを配布、ポスターの掲示などを通して利用者

数の拡大を図る。またホームページなどをとおし、普段の保育の楽しい様子を伝えるようにする。

#### 4. 施設設備及び備品等購入計画

- ホールエアコン工事費用 1, 785, 000円他 (別紙参照)
- 1階トイレ改修費用 5, 197, 500円他(別紙参照)
- メール配信サービス費用他 216, 800円他 (別紙参照)

#### 5. 部門別保育年度達成目標又は部門別保育方針

##### ○乳児保育部門

- ・0歳児 子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。ティームティーチング体制作りの強化。園内外や自然に興味をもち、安心できる保育者の下で生活できる子どもを目指す。

- ・1歳児 子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。園内外や自然、人に関心をもち、保育園が大好きな子ども作りを目指す。

- ・2歳児 子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。園内外や自然、人に関心をもち、自分で気づき、安心できる保育士と共に行動できる子どもを目指す。

##### ○幼児保育部門

- ・3歳児 子ども、保護者の安心、安全のための保育環境整備。安心できる保育士や友達とともに情緒の安定を図り、生活できる子どもを目指す。

- ・4歳児 子ども、保護者の安心、安全のための保育環境整備。気の合う友達と共に協力する喜びを分かち合いながら、生活する子どもを目指す。

- ・5歳児 子ども、保護者の安心、安全のための保育環境整備。竿燈参加、就学に向けて体力をつけ、自分で考え、行動し、地域を愛し、愛される思いやりをもった子どもを目指す。

##### ○給食部門

- ・新体制食育年間計画の作成
- ・安全、安心、おいしい給食作りを目指し、厨房会議などでも話し合う。
- ・年度末に子ども達の喫食状況を調査し、職員または保護者に発表し、今後の改善点について話し合う。

##### ○子育て支援部門

- ・5月より園開放を実施。在園児と交流する機会を設け、来園が楽しめるような企画を検討する。
- ・講演会では、子どもと保護者が一緒に楽しめるような企画を考え、実施する。
- ・5月より新規の一時預かりを受付開始、在宅の子どもも積極的に交流できる機会を設ける。

### ○地域との交流

- ・川尻本町と連携を図り、竿燈の練習を行う。ルールを守り、秋田の伝統行事に参加する喜びを味わう。
- ・ごしょの保育園と連携し、園バスを利用して地域の無償の施設へ出かける。(バスでお出かけの実施)
- ・山王幼稚園との交流をもち、同じ年代子ども達との出会いを楽しみ、交流をする。

## 6. 事業に関する事項

定員 60名

利用者状況及び職員構成

単位：名

年齢別区分	25年度継続児	26年度新入児	合計
0歳児	4	1	5
1歳児	10	0	10
2歳児	10	1	11
3歳児	13	0	13
4歳児	10	0	10
5歳児	12	0	12
合計	59	2	61

年齢別

年齢別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
児童数	5	10	11	13	10	12	61
保育士定数	3	2	2	1	1	1	10

職種

職種	園長	保育士	厨房	事務員	嘱託医	看護師	合計
職員数	1	16	3	1	2	1	24
有資格者	1	15	3		2	1	22

## 7. 会議等

職員会(月1回 第3月曜日、火曜日)

申し送り(週1回 週末)

クラス会(未満児・以上児に分かれて 月1回)

厨房会議(月1回 第4月曜日)

ケース会議(場合に応じて)

その他分担毎の会議随時実施

## 8. 行事計画

月	日	行事	内容
4	1	進級日・新入日	
	11	進級・新入を祝う会	進級・新入をみんなでお祝いします。
5	2	端午の節句集会	端午の節句をお祝いします。
	13	親子遠足	親子で遠足を楽しみます。
	中旬	内科検診	嘱託医の先生に健康診断をしてもらいます。
6	初旬	歯科検診	歯科医の先生に歯の健診をしてもらいます。
	21	清掃日	保護者の皆さんと一緒に大掃除をします。
7	7	たなばた会	みんなで短冊を書いて七夕を迎えます。
8	初旬	竿燈壮行会	みんなで大きいちゅうりっぷくみさんを応援する会をします。
		竿燈参加 (大きいちゅうりっぷくみ)	竿燈に参加します。
9	中旬	運動会	みんなで体を動かして遊びます。
	下旬	お泊まり会 (大きいちゅうりっぷくみ)	大きいちゅうりっぷくみさんがお泊まり会に参加します。
10	第2週	自由保育参観・参加ウィーク	子ども達の普段の様子を見て頂きます。
	下旬	内科検診	嘱託医の先生に健康診断をしてもらいます。
11	下旬	講話会	講師をお招きしてお話を伺います。
	29	お楽しみ発表会	子ども達の張り切っている様子をお家の方に見て頂きます。
1	9	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いします。
2	3	豆まき会	みんなで豆まきをします。
	下旬	個人面談週間	お子さんの様子をお話します。
3	3	ひなまつり会	みんなでひなまつりをします。
	7	卒園式	大きいちゅうりっぷくみさんの卒園をお祝いします。
	12	保護者会総会	保護者会が中心となって、総会をします。
	下旬	お別れ遠足(大きいちゅうりっぷくみ)	卒園を前にみんなでお出かけをします。

- \* 平成26年度保護者会総会は親子遠足の前に行います。
- \* 変更になった場合は毎月の行事予定や掲示でお知らせします。
- \* 毎月、各クラスでバスに乗ってお出かけをします。月1回発行する行事予定をご確認下さい。
- \* 月1回、身体計測をしてお家の方にお知らせします。
- \* 毎月、全園児ホールに集まって誕生会をします。お家の方も参加できますので、ぜひ、一緒にお祝いしましょう。誕生会の後、保育参観、給食試食会も予定しております。
- \* お泊まり会は9月下旬を予定しています。

9. 研修計画

(別紙参照)

## ◇平成26年度研修計画

### 【外部研修】

かわしり保育園

主催者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
1 県保協	・監査 ・総会	秋田県保育研究大会					・主任保育研修会		・保育所長研修会				
2 民保協	・監査 施設長会 ・総会	・施設長会	・施設長会 ・主任保育士部会 ・保育士研修	・施設長会	・施設長会 ・保育士研修	・施設長会	・施設長会 ・保育士研修	・園長セミナーⅠ ・施設長会 ・保育士研修 ・主任保育士部会	・施設長会 ・施設長会	・施設長会	・施設長会 ・主任保育士部会	・園長セミナーⅡ ・施設長会	
3 県保育士会	・総会				・ブロック別勉強会	・主任保育士部会		・実践研究集会					
4 市保育士会	・総会 ・幹事会・研究部会 ・主任保育士部会 ・給食担当者部会	・研究部会 ・幹事会 ・主任保育士部会 ・給食担当者部会	・幹事会 ・研究部会 ・主任保育士部会 ・ミニ学習会	・研究部会 ・主任保育士部会 ・給食担当者部会	・研究部会 ・施設見学	・研究部会 ・施設交流	・研究部会 ・学習会 ・幹事会	・主任保育士部会 ・研究部会 ・リフレッシュ会	・研究部会	・研究部会 ・給食担当者部会	・研究部会 ・主任保育士部会 ・幹事会	・研究部会	
4 県社会福祉保健研修センター		・新採用者研修		・福祉保健施設 (事業者等事務職員研修)(施設長研修)(保育士中堅研修)			保育施設保育士 中堅研修(専門性・組織性)						
5 全保協								トップセミナー					
6 秋田県幼保推進課	・園長等運営管理協議会Ⅰ ・教頭・主任等研修会		ティリーブランディング研修会	保育技術研修会 PDCA研修	・就学前教育地区別合同研修会( ・PDCA研修	・乳幼児(0~2歳児)保育研修会	・PDCA研修			・園長等運営管理協議会Ⅱ			
7 その他		・社会福祉法人等研修会(秋田市福祉保健部監査指導室)	特別支援教育研修会	・中央地区連絡協議会	中央地区連絡虚偽会		・4園合同研修会 ・子育て支援ネットワーク			幼保小連絡協議会	幼保小連絡協議会		

### 【内部研修】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
園内研修 ～防災教育・指導を考える～				救急救命法について学ぶ。	3歳児	0歳児	2歳児			1歳児	4歳児	5歳児	厨房
中堅研修										中堅研修～一人の子どもを通して育ちを見つめる～			
新人研修		新人研修～園長先生からのお話会～	新人研修～主任からのお話会～				新人研修 看護師からのお話					新人研修	
法人研修	中長期計画説明会						中長期計画経過報告会					中長期計画報告説明会	
その他			竿燈講話会					講話会(保護者会と一緒に)					

# 平成 26 年度

## 阿久和保育園事業計画

### 1. 事業の内容

- 保育事業
- 地域子育て支援事業
- 一時保育事業
- 延長保育事業

### 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

恵まれた自然環境の中の保育園。豊かな心と身体を育み、子どもたちの目線に立ち共感しながら一人ひとりを丁寧に保育していきます。

定員は 2 年連続して、90 名のところ実質 93 名の対応になります。

一時保育事業・地域子育て支援事業等に積極的に取り組み、保護者並びに地域の方々に安心、信頼される園運営を目指してきました。開園後 6 年目に入りより一層充実したものにしていきます。

### 3. 重点施策

- 25 年度に保育目標を基に園内研修で保育課程を作成しました。26 年度より新保育課程を基に年間指導計画、月案、日案を作成します。
- 新しい形式の保育日誌を作成しました。約 1 ヶ月の試用期間を経て、26 年度 4 月より運用します。
- 公立保育園時代の良さを活かしながら、会議や話し合いの機会を大切にして、職員の共通理解、共通意識を図る。阿久和保育園としての特色を園児や保護者、地域の人へ発信していく。
- カリキュラム会議・園内研修
  - ① 乳児会議・幼児会議・カリキュラム会議では、保育の資質の向上を目的として、各クラスの月案・週案・日案を見ながら、お互いの保育を見る時間を設け、話し合いを重ねていく。  
→ P D C A を意識する保育を心がける。
  - ② 園内研修を行う際には、自分なりのねらいを持ち、資料を提出する職員は早めの提出を心掛ける。日々保育していく上で、感染症・アレルギー疾患等職員同士が意思統一をしておく必要がある。26 年度の園内研修は感染症・アレルギーについて幅広く研修し、明日の保育に役立てていきたい。
  - ③ 話しやすい雰囲気作りを心掛け、周りの意見に耳を傾ける。また、一つひとつの議題に対し、自分の考えを持ち積極的に発言する。(保育の考え方、やり方はいろいろあります。子どもの最善の利益を考え、保育に対する思いを意見交換しましょう。) また、反省や改善点をしっかりと踏まえ、自分の保育に生かせる機会を持つ。

#### 4. 施設整備及び備品等購入計画

- 保育室（0歳児）保冷ボックス購入。
- 各年齢の発達に応じた玩具の購入。
- 園庭の農園の整備。化学肥料は使わず E M 菌使用の為のぼかしを購入。
- 園庭の環境整備（安全面の強化）化粧ブロックのガード（外灯の足元ガード等）
- 災害対策 備蓄食料品（1日分から3日分）を増やす。固形燃料（温めるため）

#### 5. 部門別保育年度達成目標・又は部門別保育方針等

- 乳児保育部門（清潔で衛生的な環境作り）

0歳・子どもの健やかな育ちを考える中で信頼関係築き、子どもの安心と安全の為の体制づくり。

- ・授乳から離乳食への食に対する体験を広げる。・健康状態の把握の徹底。
- ・啞語を発する時期であるので、声掛けをすることにより簡単な言葉を理解する。

1歳・ことばと運動機能が発達する時期・情緒の安定を図りながら、遊びを十分取り入れ体験し、心の発達を助け自分でしようという気持ちを促す。

二語文を話し始める時期、意思を伝えようとするきもちを育み欲求を高める。

2歳・体の動きのコントロールができる時期。自我の発達の中で運動を多く取り入れ心身ともに健康で丈夫な体づくりをする。集団生活の中で自分の欲求や考えを簡単な言葉で表現できる事を楽しむ。排泄習慣や生活習慣作りを行なう。

- 幼児保育部門

3歳・自立しようとする時期、言葉がますます豊かになり、言葉や知識に興味を持つ時期。

言葉による表現を自分から使うようになり新しい言葉を多く知り集団生活の中で自分でできる楽しさを感じる。全身を使って動きのある遊びを楽しむようにする。友だちとのごっこ遊びができるようになり、ルールを守れるようにしていく。

4歳・社会性が身に付き自分の気持ちを伝えられたり、理解できるようにしていく。

楽しんで運動遊びをし、全身のバランスもとれるようになる時期。友だちとはごっこ遊びを楽しむことにより想像力を膨らませた遊びを同時にできるにしていく。

5歳・社会的ルールがしっかりと身に付く。良い事、悪い事を自分で考え判断し言葉で伝えたり話したりする中で相手の話も聞くことができる。生活習慣を身に着け集団生活の中で思いやりのある行動ができるようにしていく。話す、書く、体全体を使った動きに興味を持たせ、自分で書こうとする力をつけ思考力や認識力を高める。就学に向けて子どもの育ちの援助をしていく。

- 給食部門　・丁寧できめ細やかな提供を心がける。

・園生活の中で食を楽しむ心を育て安全安心な給食をめざし命の育ちと食に対する心を養う。

- ① 食や生活の中で意欲的に食にかかるような体験を多く取り入れる。
- ② 食物アレルギー対応については研修を重ね、最新の情報と知識を身に付けた上で、家庭との連携を図る。
- ③ 地域支援としての給食試食会を継続して行う中で、要望の多い離乳食についても対応していく。

## 6. 事業に関する事項

定員 90名

利用者状況及び職員構成

単位：名

年齢別区分	25年度継続児	26年度新入児	合計
0歳児	0名	9名	9名
1歳児	14名	2名	16名
2歳児	16名	1名	17名
3歳児	14名	2名	16名
4歳児	16名	1名	17名
5歳児	17名	0名	17名
合計	77名	15名	92名

年齢別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
児童数	9名	16名	17名	16名	17名	17名	92名
保育士定数	3名	4名	3名	1名	1名	1名	13名

職種	園長	保育士	厨房	事務員	嘱託医	看護師	合計
職員数	1名	25名	3名	3名	1名	—	33名
有資格者	1名	22名	2名	—	—	—	24名

## 7. 会議等

職員会議 毎月1回（第一木曜日）

カリキュラム会議 每月1回（第四木曜日）

乳児会議・幼児会議（カリキュラム会議の3日前）

アレルギー会議 毎月1回（15日前後）

食育会議及び献立会議（毎月1回）

地域子育て支援会議（年3回）

幼保小教育交流事業会議（年10回）

応援ネット（年3回）

行事分担ごとの会議開催

社会福祉協議会（年3回）

## 26年度 行事計画

\* 保護者参加行事

月	日	曜日	行 事	内 容
4	1	火	* 進級・入園を祝う会	進級児入園児をお祝いします。
	22	火	* ひよく組（0歳児）懇談会	担任が1年間の豊富を話しその後懇談します。
	23	水	* りす組（1歳児）懇談会	"
	24	木	* うさぎ組（2歳児）懇談会	"
5	15	木	内科検診	嘱託医の先生が来園し検診をしてもらいます。
	20	火	* たんぽぽ組（3歳児）懇談会	担任が1年間の豊富を話しその後、懇談します。
	21	水	* ひまわり組（4歳児）懇談会	"
	22	木	* さくら組（5歳児）懇談会	"
	28	水	おべんとう遠足（3・4・5歳児）	お弁当を持参し幼児クラスが一緒に同じ場所に遠足に行きます。
6	25	水	ごっこ遊び	ごっこ遊びを通して異年齢児や地域の子どもたちとの交流を楽しめます。
7	1	火	プール開き	プール遊びの約束事をする。安全祈願。プール遊びをする。
	18	金	* 夏祭り	主催は父母の会。和太鼓・ソーラン節を見たり縁日を楽しめます。
8	29	金	プールじまい	約束を守って楽しく遊べたか確認、プールを清めます。
10	11	土	* 運動会	年間通して行っている運動・リズム等を発表します。
	22	水	お弁当遠足	全クラス秋を探しにお弁当を持っていき、0歳児は給食を食べます。
11	5	水	収穫祭	秋の自然物を身近な遊びに取り入れ遊びます。
12	13	土	発表会	日頃の表現遊びを発表します。
	25	木	お楽しみ会	サンタさんが登場してプレゼントをもらいます。
2	3	火	豆まき	節分の由来を知り、鬼に向かって豆をまきます。
	4	水	* さくら組（5歳児）懇談会	一年間の成長と就学・進級に向けて懇談します。
	5	木	* ひまわり組（4歳児）懇談会	"
	6	金	* たんぽぽ組（3歳児）懇談会	"
	10	火	* うさぎ組（2歳児）懇談会	"
	12	木	* りす組（1歳児）懇談会	"
	13	金	* ひよこ組（0歳児）懇談会	"
	4	水	お別れ遠足	さくら組さんとお弁当を持って思い出作りに出かけます。
3	11	水	さくら組 お別れバス遠足	保育園生活最後の思い出作りにバスに乗って出かけます。
	20	金	* 卒園式	さくら組さんの卒園をお祝いします。

◆上記の他に毎月行う行事：誕生会・避難訓練

◆内科検診年2回・歯科健診年1回・人形劇等があります。

◆身体測定を月1回行いお家の方にお知らせします。

☆毎週月曜日全園児ホールに集まってコンサートを行っています。

☆第2・第4木曜日給食試食会を行っています。

☆毎月第2土曜日園舎解放を行い地域の就学前の親子が2階の地域支援室で遊びます。

☆1年を通して保育参観を行っています。

## 研修計画

### 外部

	市 社協	区 社協	横浜市	瀬谷区	その他
4月	施設長会議		幼保小教育交流事業 保育所職員定例研修	幼保小推進地区事業 食育研修会 主任保育士研修	保育士研修 リズム研修
5月		施設長会議	幼保小教育交流事業 保育所職員定例研修	幼保小推進地区事業 主任保育士研修	保育士研修 リズム研修
6月	施設長会議		幼保小教育交流事業 保育所職員定例研修	幼保小推進地区事業	保育士研修 リズム研修
7月			幼保小教育交流事業	幼保小推進地区事業 主任保育士研修	保育士研修 リズム研修
8月	施設長会議		幼保小教育交流事業	幼保小推進地区事業	保育士研修
9月		施設長会議	幼保小教育交流事業 保育所職員定例研修	幼保小推進地区事業 主任保育士研修	保育士研修 リズム研修
10月	施設長会議		幼保小教育交流事業	幼保小推進地区事業	保育士研修 リズム研修
11月			幼保小教育交流事業 保育所職員定例研修	幼保小推進地区事業 主任保育士研修	保育士研修 リズム研修
12月	施設長会議		幼保小教育交流事業	幼保小推進地区事業	保育士研修 リズム研修
1月			幼保小教育交流事業 保育所職員定例研修	幼保小推進地区事業 主任保育士研修	保育士研修
2月	施設長会議	施設長会議	幼保小教育交流事業	幼保小推進地区事業	保育士研修
3月			幼保小教育交流事業 保育所職員定例研修	幼保小推進地区事業 園医部会	保育士研修

### 内部

4月	ねんざ・切り傷・頭より上の怪我の対処法と、連絡体制について
5月	アレルギーについて
6月	0歳の予防接種について(NO.1)
7月	プールに入る際に注意する感染症
8月	ぜんそくについて
9月	医師が記入した意見書が必要な感染症について
10月	1歳の予防接種について(NO.2)
11月	ノロ・ロタウィルスについて
12月	人口呼吸の仕方
1月	アレルギー児対応・エピペンの使い方
2月	まとめ
3月	

# 平成 26 年度 西柴保育園事業計画

## 1 事業の内容

### ○保育事業

- ・長時間保育 ・延長サービス・一時保育

### ○地域育児支援事業

現在、下記の通り実施している。

- ・乳児室開放…月 1 回 主に第 1 金曜日
- ・園庭開放…週 2 回 火・金曜日の 10:30~12:00
- ・育児講座…年に 3 回
- ・交流保育…年に 9 回 リズム遊び・七夕集会・運動会・運動会ごっこ・公園愛護会との焼き芋会・ハッピーデイコンサート・お正月遊びの会・リズム遊び・節分の会
- ・体験給食…月 2 回 (地域家庭の食育)
- ・誕生会参加…月 1 回 身体測定

## 2 保育園をめぐる状況と基本方針

平成 26 年度の金沢区の入所申込状況は幼児の希望者が少なく、1~2 歳児が多いと聞いているが、西柴保育園は昨年度の 51 名から 8 名減の 43 名でスタートすることになる。駅から遠く、近隣の高齢化した住宅地に囲まれた園環境は早急に変化を望めない。

このような状況下にあることを踏まえ、今年度も保育の質を高めていくことはもちろんのこと、皆が気持ちを一つに知恵を結集して、西柴保育園の保育・“園の強み”を作り上げ、地域にアピールしていくことが必要となる。開園して以来、法人の理念に則り、子ども、保護者との信頼関係を構築し、子どもの最善の利益を第一として家庭や地域と連携して保育を進めてきたが、子ども達が一人ひとり愛されていることを実感し、自分自身に自信を持ち、自分らしさを発揮できるよう子どもを中心に据えて職員皆で保育を進めていきたい。

## 3 重点施策

### ○保育の充実

運動遊びの体系化 (1~5 歳児まで)

1 歳児から 5 歳児までの発達に基づき、西柴保育園の運動遊びとしてまとめる。

### ○防災訓練（炊き出し）と災害時非常食の更なる整備

- ・H25 年度に非常食提供の献立作成を行い、非常食の備蓄を 1 日分できたが、まだ不足しているので備蓄していく。
- ・備蓄した非常食を使って職員が実際に動けるよう、防災用品の使用及び炊き出し訓練を行う。

### ○園内研修の充実

基本に立ち返って保育所保育指針を再度学び直し、自分の保育を振り返り、見直していくと共に保育所保育指針に沿った保育を実践していく。

### ○組織の検討

平成 25 年度は組織が動いていないので、組織が機能できるよう見直し動ける組織にしていく。

## ○防犯関連

現在、市立保育園当時から各クラスの出入りはテラス側から行っている。

事務所から當時、開錠時間帯の出入りの確認を行うことは難しく、保護者からも不安があるという意見が出ていた。玄関のレイアウト、出入りの変更など保護者会とも話し合い、防犯上の観点から 26 年度から玄関から出入りを行うこととしたい。

## 4 施設整備及び備品等購入計画

- 室内用幼児靴箱 3 (玄関)
- 職員用靴箱 1 (玄関) 現在の新しい靴箱に取り付けるもの
- 防災用かまど作成材料耐熱用レンガ・マキ
- サランラップ
- トイレ用テント 2 張り
- 鍵の取り換え (非常食料品保管倉庫)

## 5 部門別保育年度達成目標・又は部門別保育方針等

### ○保育目標

1歳児・自己主張の芽生えを大切にしながら、甘えや依存の欲求を満たしていく。

- ・保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。
- ・安心できる保育者との関係のなかで生活のリズムを身につけ全身運動を楽しむ。
- ・好きな保育者の話しかけや働きかけにより言葉を使うことを楽しむ。

2歳児・見守られながら、簡単な身のまわりのことを自分でしようとする。

- ・見守られながら友だちと関わって遊ぶ。
- ・事物に关心をもち、見たり触れたりする。
- ・見聞きしたことを模倣し、自分の思いを人に伝えようとする。

3歳児・生活リズム、食事のマナー、着脱の習慣などがほぼ身につく。

- ・戸外遊びを十分にし、体を動かす楽しさを味わう。
- ・保育者に支えられながら、周りの親しい人と会話をしたり、自分のつもりを伝えられる。
- ・さまざまな経験をとおして、感じた事や想像したことを表現する。
- ・友だちとぶつかりながら、相手の気持ちに気づいたり、一緒に遊ぶ楽しさを知る。

4歳児・生活に必要な意味がわかり見通しをもって自分の身のまわりのことをする。

- ・興味をもった活動に集中する。
- ・小人数の仲間やグループで、一人ひとりが自分の考えや思いを伝え、友だちの考えも聞き話し合う。
- ・それぞれが自分の考えを出し合いながら友だちと一緒に過ごす楽しさを味わう。

5歳児・見通しをもって生活できるようになり、生活習慣が自分の意志や判断で進められる。

- ・友だちとぶつかりながらも協力し合い、目的を達成していく喜びを味わう。
- ・探究心が深まり試したり、工夫したりして遊びを楽しむ。
- ・身近な社会、自然に親しみ、感じた事や想像したことを自分なりの手立てで表現する。
- ・地域の人や中学生等、異年齢の子と関わりそれぞれの人の気持ちを理解しようとする。

## ○食育

- 概ね6か月～1歳3か月     ・さまざまな食品に慣れていく。
- 概ね1歳3か月～2歳未満     ・食べてみたいという意欲を大切にし、手づかみでも自分で食べようとする。
- 概ね2歳     ・スプーンやフォークを使って進んで食べようとする。
- 概ね3歳～4歳     ・スプーンやフォークを使って進んで食べようとする。  
・正しい箸の使い方を身につけていく。  
・食事の仕方やマナーを知り、楽しく食事をする。  
・身近な食材を見たり、触れたり、育てたりして興味をもつ。
- 概ね5歳     ・食を通して、健康と食物の関係に关心をもつ。
- 概ね6歳     ・食を通して、自らの健康や自然とのかかわり、食文化への关心を高め、より楽しんで食事をするようになる。

## 6 事業に関する事項

定員 60名

### 利用者状況及び職員構成

年齢別区分	25年度継続児	26年度新入児	合 計
0歳児			
1歳児		7	7
2歳児	4	0	4
3歳児	10	0	10
4歳児	8	1	9
5歳児	13	0	13
合計	35	8	43

年齢別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
児童数		7	4	10	9(含障)	12(含特)	42
特別支援児		0	0	(1)	0	3(3:1)	(4)
障がい児		0	0	0	1(1:1)	0	1(1:1)
保育士定数		1.7	0.8	0.6	0.3	0.5	3.9
保育士必要数	3.9+有給対応(1)+早遅対応(1)+一時保育対応(1)+特別支援児対応(2)+障がい児対応(1)=10名						

職種	園長	保育士(週3朝・夕の補助含む)	厨房 週3含	事務員	嘱託医	看護師	合計
職員数	1	12~13	2~3	0	1	0	17~18
有資格者	1	10(4時間勤務者含)					11

## 7 会議等

- 職員会議 月1回第1木曜日
- カリキュラム会議 月1回
- 乳児会議…2か月に1回～2回
- 幼児会議…2か月に1回～2回
- 厨房会議…2～3か月に1回
- フリー会議…必要に応じて開催
- 非常勤者会議…職員会議報告を含む
- 運営会議…必要に応じて開催(主任・園長・統括)

## 8 行事計画

月	日	行事	内容
4月	1(月) 24(木)	新入・進級を祝う会  すみれ組懇談会(☆すみれ組保護者)	・新入・進級をみんなでお祝いする。  ・年長児の姿、1年間の保育について話す。  ※乳幼児期の保育について考え方や保育園運営について協力、理解をしていただく。
5月	1(木) 13(火) 14(水) 20(火) 22(木)	子どもの日の会  春の健康診断  ゆり組懇談会(☆ゆり組保護者)  たんぽぽ組懇談会(☆たんぽぽ組保護者)  ちゅうりっぷ組懇談会(☆ちゅうりっぷ組保護者)	・子どもの日を皆でお祝いする。  ・嘱託医の健康診断を受ける。  ・年中児、年少児、1歳児、2歳児の姿や1年間の保育について話す。  ※乳幼児期の保育について考え方や保育園運営について協力、理解をしていただく。
6月	中旬	プール開き	・夏ならではの水遊びを楽しめます。
7月	4(金) 下旬～8月上旬	七夕の会  夏季異年齢保育	・七夕の笹を飾り、皆で七夕の会を楽しむ。
9月	2(火) 上旬 中旬	防災訓練  プール終了  ちゅうりっぷ組個人面談(ちゅうりっぷ組保護者)	・日頃の避難訓練に加え、災害非常伝言板を使用して保護者への情報伝達訓練、引取り訓練を行い、非常事態に備える。  ・個人面談を行い、保護者と家庭・保育園の子どもの様子を話し合い、成長を確認し連携して子どもを育てていく喜びを共に確認し合う。
10月	4日(土) 未定 中旬～下旬 下旬	運動会(☆)  秋の健康診断  ゆり組・たんぽぽ組個人面談(☆ゆり組 たんぽぽ組保護者)  園外保育	・子どもの運動遊びの発表を行い、保護者も一緒に運動遊びを楽しみ、楽しい一時を共有する。  ・個人面談を行い、保護者と家庭・保育園の子どもの様子を話し合い、成長を確認し連携して子どもを育てていく喜びを共に確認し合う。  ・保護者にお弁当を作つて戴いて、園外に出て日常とは違う活動を楽しむ。

11月	10(月)	焼き芋会	・公園愛護会と一緒に公園清掃・焼き芋を楽しむ。
12月	6日(土) 中旬 中旬～下旬	お楽しみ会(☆) ハッピーデイ すみれ組個人面談(☆すみれ組保護者)	・今まで遊んできた表現活動を、保護者や皆が見て いる前で発表する。いろいろな形で表現する事を 楽しむ。・地域の高齢者のハーモニカグループの方 に演奏を聴かせて戴いたり、子どもが歌を歌って聴 いて頂いたりして交流を楽しむ。
1月	15日(木) 下旬	お正月遊びの会(希望する祖父母の方) すみれ組懇談会(☆)	・祖父母や地域の方と一緒にお正月遊びを行い、樂 しむ。
2月	3日(火) 未定 未定 未定	節分の会 ゆり組懇談会(☆ゆり組保護者) たんぽぽ組懇談会(☆たんぽぽ組保護者) ちゅうりっぷ組懇談会(☆ちゅうりっぷ組保護者)	・節分の由来や豆まきについて話を聞いて、豆まき を行う。 ・1年の終わりの懇談会で、子どもの成長を話し 喜び合い進級に向けて確認し合う。
3月	3日(火) 5日(木) 7日(土) 11日(水) 19日(木)	ひなまつりの会 お別れ遠足(卒園児のみ) 入園説明会(☆新入園児の保護者) お別れ会 卒園式(☆卒園児保護者のみ)	・ひな祭りの会を皆でお祝いする。 ・想い出に保護者に弁当を作つて戴き遠足を楽し む。・入園の保護者に“園のしおり”を説明し保育 園生活について理解していただくと共に、個人面談 を行い事前に保護者から話を聞き、心配なこと等聞 き取り子どもへの事前情報を得て、受け入れ前の子 ども理解につなげる。
備考	未定 年3回程度 年数回実施	交通安全指導、誘拐防止キャラバン、歯科健診 育児講座(地域の子育て親子対象) 地域の子どもたちとの交流(七夕、運動会ごっこ、 リズム交流など)	・交通安全指導・誘拐防止キャラバン・・・外部か ら指導員に来園を依頼し、子ども達に話して戴く。

※毎月、発育測定、避難訓練、誕生会を行う。子どもの誕生日にはクラスにてお祝いする。

個人面談、保育参観等希望があれば隨時、受け付ける。

他に保護者会の行う行事がある。(その年の保護者会役員で決定するので未定)

## 9 研修計画

### 外部

月	主催者				
	全保協	保育運営課	区役所	私立園長会	その他
4月 ～ 3月	・人材育成計画及び個人の26年度の研修のねらい・希望に基づいて、保育運営課、区役所、 私立園長会の研修計画に従つて、研修受講者を園長が決定する。 ・園長は全国レベルの研修に1年に1回は参加するように心がける。				

※25年度の保育運営課・区役所・私立園長会の研修計画は添付資料の通り

## 内部

4月 ～ 3月	<p>◎保育所保育指針についての勉強会 初心にかえり、理念、子どもの発達等について学び、自分の保育を振り返る。皆が子どもを保育者としての視点で捉える事が出来るようになる。</p> <p>◎研究プロジェクトを立ち上げ、1歳児～5歳児までの運動遊びを体系的にまとめ実践できるものにしていく。</p> <p>★どのように学んでいくのか園長、主任を含め担当者で検討し、計画を立てる。</p> <p>★26年度中に仕上げ27年度からは確実に実践できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年齢に伴う身体の発達と運動遊びについて学び、各年齢に必要な運動遊びを体系化してまとめる</li></ul>
---------------	---

## 10 その他の事項

# 平成26年度 阿久和キッズ事業計画書

## 1. 事業内容

- 保育事業 ○延長保育事業
- 地域子育て支援事業

## 2. 施設周辺の環境・状況と基本方針

閑静な住宅地の中に位置し新設ということで地域の方々に受け入れていただけるよう積極的に関わりを持ち地域に密着した施設を目指していきます。  
育児相談・地域子育て支援事業等を行い、子ども達や保護者並びに地域の方々に安心・信頼される施設運営を行っていきます。  
姉妹園である阿久和保育園や近隣の公園に積極的に出かけ、小規模保育園では難しい運動遊びなどにも取り組んでいきます。  
そして、子どもの最善の利益を念頭に置きながら、個々の関わりを大切にした保育を心がけ子ども達と共に感しながら豊かな心と身体の育みに取り組んでいきます。  
定員は0歳児 6名、1歳児 6名、2歳児7名の合計19名で運営していきます。

## 3. 重点施策

- 施設開園に伴い保育目標や阿久和保育園の保育課程を基に年間指導計画、月案、日案、個別指導を全職員で作成していきます。
- 保育日誌は阿久和保育園の書式を活用し、職員間で記入の仕方を統一をしていきます。
- 会議や話し合いの時間を大切にし、一つ一つのことを全職員で確認していくながら共通理解・意識持てるように努めています。
- 保育はサービス業であることも意識しながら、園児や保護者・地域の方々へ保育の様子など発信していきます。
- 職員会議・カリキュラム会議・園内研修
  - ①職員会議・カリキュラム会議では保育の質を向上させるため、お互いの保育の様子を報告・討議しより良い保育を目指していきます。
  - ②26年度の園内研修は阿久和保育園の各種マニュアルを参考に阿久和キッズに即したものを作成すると共に全職員が徹底していくように努めています。
  - ③話しやすい雰囲気作りを心がけ、互いに良い点は認めあい助け合って頑張っていけるようにする。  
反省や課題点は討議しあい明日の保育に活かしていきます。

## 4. 施設設備及び備品等購入計画

- ・各クラス保育に必要な家具・備品・玩具などの購入(棚、テーブル、イス、カゴ、年齢に合った玩具など)
- ・調理室で必要な備品の購入
- ・園全体で必要な備品・日常諸費・消耗品の購入
- ・土に触れられる機会を持つためのプランターなどの購入
- ・災害対策 備蓄食料品(3日分)を購入  
(誰が見ても分かるように写真に撮り、掲示できるようにする)

## 5. 部門別保育年度達成目標・部門別保育方針等

- 乳児保育部門  
0歳児・・保育者と関わる中で愛着関係を築き、心地よさや喜びを感じられるよう一人ひとりの気持ちに寄り添い丁寧に関わるよう配慮し感性や感情を豊かに育てる。  
授乳から離乳食へと進めていき、舌触り・味・香りなどに触れ食に対する体験を広げていく。  
健康状態の把握、安心安全で清潔な環境での睡眠を確保できる体制作りをする。  
言葉に触れる機会を多く持ち、優しく声をかけたり囁語や指さしに応えることにより簡単な言葉を

理解・習得していく。

1歳児···自我が芽生え、自己主張がでてきたり二語文を話し始める。周囲の人の存在に関心を持つ時期である。子ども自身の主張、意欲を大切に受け止め言葉で伝える喜びや見通しを持った生活が送れるよう意識的に働きかけていく。

友達との共通の体験・遊びを通して、共感する楽しさを経験する。また、身体をたくさん動かして遊ぶ楽しさを伝えていく。

排泄習慣・生活習慣を身につけていくよう必要な援助を行っていく。

2歳児···自己主張が多くなるため一人ひとりとしっかり向き合い、ゆとりを持って受け止めていくことを大切にする。

一人ひとりの状況に合わせ援助をし、自分でできたという自信や喜びを感じられるよう見守る。

生活や遊びを通して友達と関わる楽しさ、言葉を使って思いを伝える喜びを育てていく。また、たくさん身体を動かして遊べる環境を整え心身の健康づくりに取り組んでいく。

排泄習慣・生活習慣の自立を促していく。

#### ○給食部門

- ・安全安心な給食・栄養のバランスを考えた給食を提供し、食に対する関心や楽しさを味わう。
- ・一人ひとりの状況に合わせて離乳食を進め、乳児食へと移行していく。
- ・食物アレルギー対応については阿久和保育園のマニュアルを参考にし研修等で得た情報や知識を生かしながら対応していく。保護者とはアレルギー会議を月末に持ち、連携を図っていく。
- ・アレルギー会議は月末に行う。(来月の献立表を見ながら保護者と施設長、栄養士、担任で行う。)
- ・地域支援として今後、給食試食会も検討していく。

## 6. 事業に関する事項

定員 19名

利用者内訳と職員構成

年齢別	0歳	1歳	2歳	合計
児童数	6名	6名	7名	19名
保育士定数	2名	1名	2名	5名

職種	施設長	保育士	厨房	事務員	看護師	嘱託医	合計
職員数	1名	5名	2名				8名
有資格者	1名	5名	2名				8名

## 7. 会議等

職員会議・カリキュラム 毎月1回  
アレルギー会議 毎月1回(15日後)  
食育会議及び献立会議 每月1回

## 26年度 行事計画

月	日	曜日	行事	内容
5	15	木	内科検診	嘱託医に検診をしてもらいます。
6			いちご組(0歳児) 懇談会	担任が1年間の抱負を話し、その後懇談をします。
			もも組(1歳児) 懇談会	〃
			めろん組(2歳児) 懇談会	〃
	25	水	ごっこ遊び	阿久和保育園のごっこ遊びに参加させてもらい、地域交流を楽しめます。
7	1	火	水遊び始まり	水の感触を味わい夏の遊びを楽しめます。
8	29	金	水遊び終わり	水遊びの終わりを一緒に確認します。
10	11	土	阿久和保育園運動会 見学・参加	運動会を見学し、かけっこなどに参加させてもらう予定です。
			お弁当遠足(1, 2歳児)	お弁当を持っていき、0歳児は給食を食べます。
11	5	水	収穫祭	秋の自然に触れて楽しめます。
12			発表会(おうちの方と遊ぼう会)	日常の遊びを保護者と一緒に楽しみ、発表します。
	25		お楽しみ会	サンタさんからプレゼントをもらいます。
2	3	火	豆まき	阿久和保育園の豆まきに参加させてもらい鬼に向かって豆をまきます。
			いちご組(0歳児) 懇談会	一年間の成長と進級に向けて懇談します。
			もも組(1歳児) 懇談会	〃
			めろん組(2歳児) 懇談会	〃
3			お別れ遠足	めろん組さんとお弁当を持って思い出作りに出かけます。
			卒園式	めろん組さんの卒園をお祝いします。

◎上記の他に毎月誕生会、避難訓練を行います。

◎内科検診年2回、歯科検診年1回行います。

◎身体測定は月1回行い、保護者の方にお知らせします。

\* 阿久和保育園で行われるイベントにも積極的に参加できるよう

連携を図っていきます。

\* 様子を見ながら給食試食会や園舎開放など地域支援も計画していく予定です。

\* 1年間を通して保育参観を行っています。

## 26年度 研修計画

### 外部

		瀬谷区	その他
5月		食育研修	リズム研修
6月			リズム研修
7月		主任保育研修	リズム研修
8月			
9月		主任保育研修	保育士研修 リズム研修
10月			保育士研修 リズム研修
11月		主任保育研修	保育士研修 リズム研修
12月			保育士研修 リズム研修
1月		主任保育研修	保育士研修
2月			保育士研修
3月			保育士研修

### 内部

4月	保育の流れ・園内の約束事に関する確認
5月	保育士の心構えについて
6月	水遊びの留意事項の確認
7月	事故対応マニュアルの確認・見直し
8月	防災マニュアルの確認・見直し
9月	
10月	防犯マニュアルの確認・見直し
11月	
12月	感染症対応、衛生管理マニュアルの確認・見直し
1月	一時保育・地域支援・園内行事の見直しと検討
2月	各年齢の保育課程の確認・見直し
3月	"